

令和6年度 渡島地区の研究活動

研修部長 七飯町立大中山小学校

校長 後木 明 生

1 はじめに

渡島小中学校長会は、函館市を除く渡島管内1市9町の公立小中学校・義務教育学校に所属する54名の会員で構成されている。以前は年に1回研究大会を開催し、研究テーマの追求と深化を図りその成果を全員で共有してきたが、コロナ禍以来形を変え、様々な方法で研究協議を行っている。今年度は、7月末の夏季休業中に全員参加で研究大会を実施し、講演会や提言発表、グループ協議などで理解を深め、渡島教育の維持向上と充実に向け研鑽を積んでいる。



令和6年度 渡島小中学校長会研究大会

2 研究計画

(1) 研究の方針

- ① 渡島小中学校長会の運営方針に基づき、未来を切り拓き豊かな社会を自らの力で創り出す児童・生徒の育成を目指すとともに、校長としてのリーダーシップを発揮し、子どもに身に付けさせたい資質・能力の育成を目指した学校経営の改善・充実に資する。
- ② 渡島小中学校長会の歴史と伝統を踏まえながら、時代の変化を敏感に捉えた研究を推進する中で、道小・全連小・道中・全日中等の研究大会への積極的な参加を図り、管内教育の充実につなげる。

(2) 研究主題

- ① 基本主題（令和6年度策定 2か年継続研究1年次）

「未来を切り拓き 豊かな社会を創り出す日本人を育成する渡島小中学校教育」

- ② 副主題及び研究課題（小学校・中学校）

「令和の日本型学校教育を充実させ、変化に対応できる持続可能な学校経営」

【小学校研究課題と研究の視点】

研究課題：知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントの推進と校長の在り方

研究の視点：主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善を推進する校長の在り方

【中学校研究課題と研究の視点】

研究課題：多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成と働き方改革の推進

研究の視点：勤務時間を意識した働き方改革を推進する学校運営体制の充実と校長の在り方

(3) 研究推進と事業計画

- ① 研修部を中心に、小学校部会・中学校部会に分かれそれぞれの課題について研修を深める。全員アンケート等を通じて個々の実践を集約し、共有する。
- ② 令和7年度全連小福岡大会と全道中胆振大会における提言発表に向け、今年度から小中別の研究主題を分科会の課題に合わせ、研究を進めている。
- ③ 第47回渡島小中学校長会研究大会を7月30日（火）に全会員参加のもと実施し、講演、提言発表、グループ協議等を通して交流と研修を深めた。

- ④ 研究大会の成果と課題、またアンケート結果等を研究紀要にまとめ、全会員に配布するとともに、各市町教育長や渡島教育局へ謹呈している。

3 研究活動の概要

- (1) 全連小各種委員会調査に対し、会員8名を抽出しアンケートに回答した。
- (2) 渡島小中学校長会研究大会
 - 主 催 渡島小中学校長会
 - 期 日 令和6年7月30日(火)
 - 会 場 大沼国際セミナーハウス
 - 講 演 認定NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム理事長 新保 元康 様
 - 分科会 小中交流分科会・小中別分科会 各12グループ
- (3) 第87回北海道小学校長会教育研究空知・岩見沢大会への参加
 - 期 日 令和6年9月13日(金)～14日(土)
 - 参 加 渡島小中学校長会より18名が参加
- (4) 第76回全連小研究協議会徳島大会への参加
 - 期 日 令和6年10月24日(木)～25日(金)
 - 参 加 渡島小中学校長会より5名が参加
- (5) 第65回道中研究大会十勝・帯広大会への参加
 - 期 日 令和6年9月27日(金)～28日(土)
 - 参 加 渡島小中学校長会より12名が参加
- (6) 第53回全日本中学校長会研究協議会岩手大会への参加
 - 期 日 令和6年10月17日(木)～18日(金)
 - 参 加 渡島小中学校長会より2名が参加
- (7) 函館・渡島地区教育経営研究会(主管:函館市中学校長会)
 - 期 日 令和6年9月24日(火) 函館市民会館
 - 参 加 渡島小中学校長会より全会員が参加
 - ・函館市教育長 井嘉夫氏による講演「チーム学校を創る ～自他の愛着スタイルの理解と信頼関係構築の留意点～」を聴講し、保護者の特性を理解したより良い関係づくりを学んだ。
- (8) 北海道3ブロック三地区校長役員研修会(主管:檜山校長会)
 - 期 日 令和6年11月22日(金) 上ノ国町ジョイじょぐら
 - 参 加 渡島小中学校長会より役員と希望者が参加。
 - ・前全連小会長大字弘一郎氏による講演「元氣な学校を創りましょう」を聴講。学校経営の在り方について学んだ。

4 おわりに

今年度は、次年度の小中各大会での提言発表を前提に研修活動をスタートし、アンケート等を実施した上で、夏の研究大会において進捗状況を報告し、その後の分科会におけるグループ協議で、実践の共有と今後の見通しをもつこととした。昨年度はWEBによる全体研修だったため、参集による会員同士の交流を、久しぶりに進めることのできる機会となった。今後も、授業改善と教職員の資質向上を目指し会員全員の協働のもと、研究を進めていく。